

日本薬学会第128年会特別講演・シンポジウム

特別講演

平成20年3月28日（金曜日）13:30～14:30

B会場 パシフィコ横浜会議センター3F 302

座長：小林資正（阪大院薬）

Bioactive Compounds from Marine Organisms and the Challenge of Discovery at the Nanomole-Scale

Tadeusz F. Molinski 教授

(University of California, San Diego, USA)

一般シンポジウム

平成20年3月28日（金曜日）14:30～17:30

B会場 パシフィコ横浜会議センター3F 302

天然物パワー：『ものとり，合成，機能解明』 ～大学発天然物薬学研究～

オーガナイザー：石橋正己（千葉大院薬），塚本佐知子（金沢大院薬）

有機合成化学によるイオンチャネル機能の制御・構築

井上将行（東大院薬）

タンデム反応を用いるフラボノイド誘導体の合成と天然物探索のためのprotein- または cell-based assayの構築

荒井 緑（千葉大院薬）

蛋白核外移行阻害天然物をシーズとする医薬リード化合物の探索

村上啓寿（阪大院薬）

”ものとり”を基盤としたケミカルバイオロジー研究

掛谷秀昭（京大院薬）

ユビキチンシステムを標的とする天然からの創薬リード化合物の探索

塚本佐知子（金沢大院薬）

ヘテロ環構築を鍵とする天然物合成

菅 敏幸（静岡県大薬）